

## <29>CAF 療法

<対象疾患> 乳癌術後転移

<治療レジメン詳細>

	薬剤名	投与量	投与方法 (点滴時間)	投与スケジュール(日) 1・・8・・15・・21
①	生理食塩液 グラニセトロン注 1mg デキサメタゾン注 6.6mg	100ml 1 A 1V	点滴静注 30分	↑
②	ドキシソルビシン塩酸塩 生理食塩液	50 mg/m <sup>2</sup> 50ml	点滴静注 15分	↑
③	生理食塩液	50mL	全開 フラッシュ用	↑
④	シクロホスファミド 生理食塩液	500mg/m <sup>2</sup> 100ml	点滴静注 30分	↑
⑤	フルオロウラシル(5-FU) 生理食塩液	500mg/m <sup>2</sup> 50ml	点滴静注 5分	↑
⑥	生理食塩液	50mL	全開 フラッシュ用	↑
⑦	デキサメタゾン錠 4mg	1日2錠(8mg)	内服	↑↑(day2-3)

<投与期間>

1クール3週間

1週投薬、2週休薬(最終投与日の21日後に次クール開始可能)

<所要時間> 120分

<備考>

高度催吐性リスク者にはドキシソルビシン開始 60 分前にアプレピタント投与  
ドキシソルビシンの生涯投与量が450mg/m<sup>2</sup>以上を超えると心毒性の可能性あり  
(癌研有明病院のデータより)